

陳 情 文 書 表

(令和6年11月29日)

|                |  |
|----------------|--|
| 受理番号・受理年月日及び件名 | 陳情第106号(6.11.21)<br>王子公園の土地売却の見直しを求める陳情  |
| 陳情の要旨          | 1. 王子公園再整備のコンセプトに準じて、王子公園の土地売却の見直しをすること。 |
| 陳情者の住所及び氏名     | 神戸市灘区<br>坂口美紀                            |
| 送付委員会          | 都市交通委員会                                  |

令和6年(2024年)11月21日

神戸市会議長様

陳情者

住所:神戸市灘区

氏名:坂口 美紀

電話:1



王子公園土地売却見直しを求める陳情

【陳情趣旨】

王子公園再整備のコンセプト『王子公園は、公園施設の老朽化や時代の変化に対応し、誰もが気軽に憩い・くつろげるより魅力的な公園にリノベーションします。』に準じて、王子公園の土地売却の見直しを求めます。

再整備の概要では『古くから「原田の森」として育まれた歴史を踏まえ、山から海まで広がる神戸を代表する美しい景観を大切に守りながら、王子動物園をはじめとする公園内の施設を適切に維持・更新するとともに、市民の憩いやスポーツ・子どもたちの学びや成長の場としての利用など、誰もが気軽に憩い・くつろげる空間を目指します。』と掲げています。

将来に渡って『時代の変化に対応して魅力的な公園を作り』ができるよう、土地を売却すべきではありません。

『古くから「原田の森」として育まれた歴史』を踏まえ、先人が守り続けた王子公園を維持すべきです。

過去には、公園敷地にするために立ち退いた住民がいます。いち営利企業のため、神戸市の約100億円の収入のために売却するのは契約違反だという方も生存していらっしゃいます。

『山から海まで広がる神戸を代表する美しい景観を大切に守る』のであれば、公園敷地全てを神戸市の責任で維持・更新すべきであり、土地を売却すべきではありません。

『公園内の施設を適切に維持・更新』ができるよう、公園敷地を縮小すべきではありません。

『誰もが気軽に憩い・くつろげる空間を目指す』のは、公園として神戸市の責任で実施していただきたい。

王子公園は広域防災避難場所です。南海トラフ地震に備えるならば、特に灘区の人口増加を考慮するのであれば、広域防災避難場所は広く確保すべきであって、今縮小すべきではありません。

王子公園は幅広い世代に、多目的な用途で利用されている地域に必要な公園です。灘区の人口増加を考慮するのであれば、公園機能を拡充すべきであって、今縮小すべきではありません。

大学の誘致は神戸市にも他にも事例はありますが、ハーバーランドや長田地区では既存の建物・環境を利用して街の活性化をはかっています。従って、大学誘致は公園売却しなくても実現できるのではないのでしょうか。

大学への土地売却は市長の発言で一方向的に決まり、『土地売却』に関しては決定事項として進められました。土地売却の可否は議会で審議されていないはずで、ですから、あえて、審議していただきたい。<sup>ん</sup>

以上の理由から、以下の事項について陳情致します。

【陳情事項】

1. 王子公園再整備のコンセプトに準じて王子公園の土地売却見直しを求めます。  
↑